

## 奥村和久教授の略歴および業績

1951年4月13日生

### 学歴

- 1970年3月 愛知県立名和高校卒業
- 1974年3月 名古屋大学経済学部経済学科卒業
- 1978年3月 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了
- 1985年3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程後期課程満期退学

### 職歴

- 1990年4月 広島大学総合科学部助教授
- 1991年4月 広島大学大学院社会科学研究科担当
- 1997年10月 広島大学総合科学部教授
- 1998年10月 立教大学経済学部経済学科教授
- 2017年3月 立教大学経済学部定年退職
- 2017年4月 立教大学経済学部兼任講師

### 学内業務

- 1999年4月 全学共通カリキュラム運営委員（2000年3月まで）
- 2009年4月 経済学研究科大学院主任（2011年3月まで）

### 学会活動

- 日本国際経済学会

## 研究業績

### 共著

1. 『日本貿易読本』 東洋経済新報社, 1992年5月
2. 『ミッテラン政権下のフランス』 ミネルヴァ書房, 1993年5月
3. 『現代世界経済の転換と融合』 同文館, 1993年7月
4. 『新しい資本主義の視点』 同文館, 1994年9月

### 論文

1. 「資本の国際化の方法論的模索（上） C. パロワの所説に寄せて」 『京都大学経済論叢』 第130巻第1・2号, 1982年7月
2. 「資本の国際化の方法論的模索（下） C. パロワの所説に寄せて」 『京都大学経済論叢』 第131巻第6号, 1983年6月
3. 「現代フランスの貿易構造 1983年度資料の再編にもとづいて」 『京都大学所有理論研究会ワーキングペーパー・シリーズ第2号』 1986年6月
4. 「70年代のフランス工業製品貿易（1） 世界貿易への統合の進展と地域別不均衡の拡大」 『龍谷大学経済経営論集』 第27巻第3号, 1987年2月
5. 「70年代のフランス工業製品貿易（2） 世界貿易への統合の進展と地域別不均衡の拡大」 『龍谷大学経済経営論集』 第28巻第1号, 1988年6月
6. 「ヒエラルキー的貿易統合の進展と内包的蓄積体制の危機 フランスを通して」 『国際経済』 第40巻, 1989年10月
7. La nouvelle division régionale entre le Japon et l'Asie du Sud Est 『龍谷大学経済経営論集』 第30巻第1号, 1990年3月
8. 「レギュラシオン派の第三世界論」 『日本評論社経済セミナー』 第433号, 1991年2月
9. 「主要先進諸国の対世界部門別貿易構造比較 SITC一桁分類に基づいて」 『龍谷大学社会科学研究年報』 第22号, 1992年3月
10. 「日本の対世界貿易 高度成長終焉後の日本貿易構造の変貌（1）」 『龍谷大学経済経営論集』 第33巻第1号, 1993年6月
11. 「日本の対環太平洋先進国貿易 高度成長終焉後の日本貿易構造の変貌（2）」 『龍谷大学経済経営論集』 第33巻第2号, 1993年8月
12. 「日本の対EC貿易 高度成長終焉後の日本貿易構造の変貌（3）」 『龍谷大学経済経営論集』 第33巻第4号, 1994年3月
13. 「南北関係の歴史的変遷とその最新の変貌 C・オミナミ理論の再構成に基づいて」 『アジア経済』 アジア経済研究所, 第37巻第9号, 1996年9月

14. 「日本の対アジア NIES 貿易（上） 高度成長終焉後の日本貿易構造の変貌（4）」『龍谷大学経済経営論集』第36巻第1号，1997年9月
15. 「日本の対アジア NIES 貿易（下） 高度成長終焉後の日本貿易構造の変貌（5）」『龍谷大学経済経営論集』第36巻第2号，1997年12月
16. 「レギュラシオン学派における<国際レジーム>概念の生成（上） J. ミストラルの所説に寄せて」『立教経済学研究』第67巻第2号，2013年10月
17. 「レギュラシオン学派における<国際レジーム>概念の生成（中） J. ミストラルの所説に寄せて」『立教経済学研究』第67巻第4号，2014年3月
18. 「レギュラシオン学派における<国際レジーム>概念の生成（下） J. ミストラルの所説に寄せて」『立教経済学研究』第68巻第4号，2015年3月
19. 「レギュラシオン学派における<国際レジーム>概念の展開（上） マジエ／バレ／ヴィダルの所説を中心に」『立教経済学研究』第71巻第2号，2017年10月

#### 翻訳

1. R・ボワイエ編著『世紀末資本主義』（共訳）日本評論社，1988年1月
2. C・オミナミ『第三世界のレギュラシオン理論 世界経済と南北問題』（単訳）大村書店，1991年11月

#### 学会報告

1. 「資本の国際化と資本循環論」経済学史学会，1982年5月，於関西大学
2. 「現代フランスの貿易構造」国際経済学会，1985年6月，於香川大学
3. *Les relations économiques extérieures du Japon* 日仏現代日本社会コロキウム，1986年10月，於京都大学
4. 「ヒエラルキー的貿易統合の進展と内包的蓄積体制の危機 フランスを通して」国際経済学会，1988年10月，於同志社大学
5. *Les caractéristiques principales de la division internationale du travail entre le Japon et l'Asie du Sud Est* 日本学術振興会・CNRS（仏国立科学研究中心）主催日仏セミナー，1989年4月，於CNRS
6. 「レギュラシオン学派の世界経済認識」日韓世界経済論シンポジウム，1995年8月，於高麗大学
7. 「南北関係の歴史的変遷とその最新の変貌 C・オミナミ理論の再構成に基づいて」国際経済学会，1996年10月，於関西大学

## その他

### a. 辞 典

『年表広島 核時代50年の記録』（経済関連項目）中国新聞社、1995年7月

『国際関係用語辞典』（共著），学文社，2003年4月

### b. 書 評

若森章孝『資本主義発展の政治経済学 接合理論からレギュレーション理論へ』『関西大学経済論集』第43巻第4号、1993年10月